

白水沢左俣左沢・南沢 遡行報告

【日程】6月4日(土)～6月5日(日)

【メンバー】CL 上茂 SL 石橋 花島 小俣 小原(白水沢・記) 前田(南沢・記)

【山城】那須連峰／阿武隈川水系・白水沢・南沢

・4日 白水沢左俣左沢

【行程】大黒屋(8:50)～登山道(13:45)～大黒屋(14:58)

千葉を早朝発、白河 IC より甲子温泉へ向かう。

甲子温泉大黒屋手前の駐車スペースで沢支度、曇りの予報に反し快晴。日差しは痛いくらいだが空気は爽やか、沢日和だ。

大黒屋を通過すると間もなく甲子山登山口となる。

登山口より数分程、岩肌白く青い綺麗な釜を持つ白水滝（F1）は水流左側から取り付くのだが、初日の朝っぱらから濡れそうだ。滝上に見える堰堤は高巻くので、歩き始めてまだ体も暖まっていない事もあり白水滝はスルーし登山道を進み、堰堤上から入渓する事とした。

Y字の滝(F2)は遡行図には逆走で難しいので左を巻くと書いてあるが、左をへつり Y の真ん中へ移り右から登る。尺の短い私は中央に足が届かず滝上で飛び移るしかない？滑ったらウォータースライダー後に頭までドボンコース。はじめの1歩に勇気がいった。



大黒屋を通る



甲子山登山口



白水滝(F1)



下部は美溪



Y字の滝(F2)



せーのせーの！なかなか飛び移れない



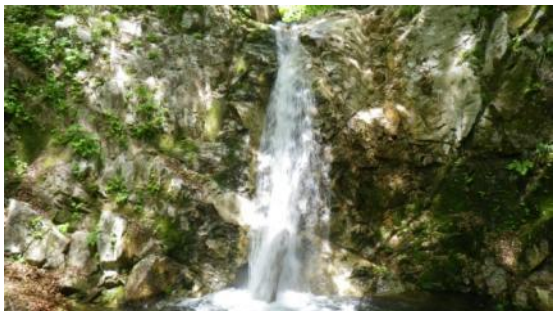
衣紋の滝(F3)

透明な綺麗すぎるブルーの釜の小滝を通り過ぎると、
衣紋の滝 (F3) が現れる。10mとの事だが、もっとありそう。
ここは右岸を巻く。



F3 の巻道

その後は登れる滝が多数あり、ゴーロとナメをすぎるとあつという間に最初の二俣。右俣の方が圧倒的に水量は多く楽しそうだが、本日は左俣に行く。



登れる滝が多くて



楽しい♪



中流部は



ナメナメあり

二俣を過ぎると水が少なく沢床には流れ落ちきれない枯葉が山積しており、足がはまりあちこちから雄叫びが。倒木や土砂も増え下部の美溪とは雲泥の差、酷い溪相だ。



滝上は倒木でつまり



水が少なく滝下は落ち葉でつまる

奥の二俣を左に入り微々たる水が滴る滝を進む、さらに最後の二俣？は左を入るとなっているが、少し迷い地形図と遡行図を見ながら検証。

左は乾ききったガレ、右は湿った岩肌を超えると奥には絶壁のようなモノが見える。左のガレに行くことになるが、程なく急勾配になり落石を起こさずには登れない状態。後続3名は落石からの避難と共に早々右の尾根へ、こちらもなかなかの急勾配の為、スリングの連携プレイで這い上がる。前に行く3名はより急勾配なガレをトラバースしながら右尾根へ取り付いていたが、結構難儀したようだ。

尾根から登山道へ向けゼーゼー言いながら藪を漕ぐ、藪こぎは5分～10分程との事だったがルートが外れていたのか？30分程かかった。



迷った分かれ道



ちょっと長くなった藪こぎ



携帯 GPS で位置確認すると、出てくる予定の登山道位置よりだいぶ下まで来ている事がわかった。途中右側尾根に向かったのが、逆方向に飛び出るのはわかるが、後から何度考えても謎のまま。やはり最後の二俣は右が正解だったのだろうか？地図読み難しいです。

下山は緩やか斜面の登山道で、サクサク1時間程で大黒屋に到着。大黒屋のお風呂は15時までということで2分前だが滑り込みセーフは無し、閉店ガラガラされてしまった。



本日のキャンプ場キョロロン村内のちゃぼランドで入浴し、楽しい宴会へと突入♪
こんな立派なキャンプ場とは知らず、他のキャンパーさんたちは BBQ の芳しい香りをこれでもか！ってくらい漂わせている、ヨダレが・・・もっとおつまみやお酒やら色々持ってくればよかったー！と、ちょっとだけ後悔した。 (小原・記)

・5日 南沢

【行程】大黒屋上駐車場(6:20)～南沢出合(6:45)～甲子山山頂(12:10)～駐車場(13:50)

4時起床。強風でテントがゆれている。

予報通りのくもり空は覚悟していたけれど、吹きつける風に少し気持ちが沈む。

テン場で皆でちゃぶ台を囲むように、昨夜炊いたご飯をお茶漬けで美味しくいただき、出発する。

強風には凹むものがあったけれど、スパッツをつけてフェルト靴をはくと、なんだかワクワクしてくる！今日はどんな沢なんだろう^^

南沢は(昨日の)白水沢と甲子トンネルを挟んだ反対の沢だ。駐車場の上の山道に入り旧道(ガードレール沿いの踏みあと)を進み阿武隈川本谷へ。入渓して15分程で南沢出合に到着。



阿武隈川本谷



南沢出合

南沢出発。

ぬめる滝登りから始まり、ゴーロ歩きと中くらいの滝登り。

トイ状のナメも美しい。白水沢に比べると少し荒れた印象で、ゴーロ歩きが多くナメもほとんどないけれど、ドキドキしながら登る滝の連続で飽きることがない。

二俣過ぎたところで休憩をとる。気がつけば風は消え、眩しいくらいの日差しが私たちの影を落とす。

目をつぶって手を広げてみると元気が充電されていくよう。ん～！幸せ^^。

川ガラスがバタバタ、ギグギッと沢を飛ぶ。随分せわしない。



初っ端から 10m テンション up



次の 8m 細かく真ん中が難しい



天気良すぎだ！



12m 滝 右から巻く

そこを過ぎると楽しい滝登りが連続する。

そしてゴルジュを逆L字にへつり見えてくるは、30mの滝！！圧倒されます。

滝の取り付きまで左のザレ場を上がりトラバースする。昨日に引き続きこのザレ場が怖い。ほとんど土のスラブを登るようなもので、「落！」「落！！」と気をつけていてもじゅんじゅん落石が起こる。もはや立ち止まっても起こる。次に落ちるのは私かもしれない。慎重に行く。

更にびっくりしたのが滝に取りついてから。ガバだらけに見える岩の脆さといったら！だましだまし岩にお願いしながら登る。上部の木の根っこをつかむまでヒヤヒヤだった。



渋いへつり



どんどん出てくる



滝！！



土壁ゴルジュをぬけると



大滝(30m)



ザレザレのボロボロ怖い！

大滝の先は土砂で荒廃していた。水流もほぼなくなり、最後楽しみにしていた傾斜のあるスラブ状のナメも、落ち葉で埋め尽くされたただ怖い。その先、スラブ壁が見えたところで藪に入り、ものの10分もしないうちに林道にでる。うれしー！！そしてそこから甲子山山頂の看板がみえたのよ^^いやっほー！！



落ち葉でスラブナメ見えず スラブ壁が出たら右へ 数分で山頂直下の登山道



甲子山山頂付近の木々は背が低く開けていて辺りの山々が見渡せる。きれい…。山頂でハイカーとすれ違う。下山は昨日と同じゆるやかな道をおしゃべりしながら歩く。駐車場近くで大黒屋の温泉を訪ねてみると、洗い場(シャワー)が使えないからと断られてしまった。謎だ。帰りに昨日よりワンランク上の温泉を狙ったホテルに入ってみると、ありとあらゆる香りに包まれとても不気味だった。熱いか冷たいか、チョロチョロしかでないシャワーも面白いではないか。

南沢と白水沢は対象的でどちらも良い沢でした。水と木々と岩が美しく、目と心が喜んで止まなかった。天気にも恵まれ、そんな中過ごした2日間でした。 (前田・記)